

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年6月

鳥取県立総合療育センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	収入証紙取扱額調べ	9 頁
7	現金の取扱状況	9 頁
8	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	14 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	15 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	15 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(2) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	16 頁
13	備品の処分状況調べ	17 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	当年度における業務の概要	18 頁
16	利用者に関する調べ	21 頁
	(1) 月別利用者の調べ	
	(2) 近年の利用者の状況調べ	
	(3) 地域別利用者の状況調べ	
17	肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ	22 頁
	(1) 利用者の病類調べ	
	(2) 利用者の年齢調べ	
18	実習生・研修生の受入状況調べ	23 頁
19	使用料(診療費)の請求等の状況調べ	24 頁
20	主な施設の整備状況調べ	25 頁
○	意見、要望等	25 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
	定員	25	26	72	69	0	0	97	95	
	現員	(4)	(3)	(4)	(2)	(0)	(0)	(8)	(5)	[育休8] [事務]児童指導員1、保育士2、心理療法士1 [技術]看護師3、言語聴覚士1
	過不足(Δ)	Δ 1	Δ 1	Δ 1	2	1	1	Δ 1	2	[事務]社参:保育士超過2、児童指導員欠員1、看護:保育士欠員1、通園:児童指導員欠員1 [技術]医師欠員1、リハ:作業療法士超過1、看護:看護師欠員1、通園:言語聴覚士欠員1、看護師超過1 [現業]看護:介助員超過1
	任期付職員	0	1	0	0	0	0	0	1	
	臨時職員	0	1	0	3	0	0	0	4	
	非常勤職員	6	5	7	8	6	6	19	19	[予算措置19] [事務]MSW1、相談支援専門員1、保育士2、事務補助1、 [技術]医師2、看護師2(欠1)、歯科衛生士2、医師事務補1 [現業]介助員5、現業技術員1 [育休代替1] [事務]心理判定員1

4 役付職員の調べ

(令和 2年 6月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
院長	汐田 まどか	4	2	継続勤務期間 24年2月
副院長 兼社会参加部長 兼通園部長 兼地域療育連携支援室長	福谷 紀男	4	2	
事務部長	本家 進	4	2	出納員
看護部長	佳川 浩子	2	2	
看護師長	足立 裕季子	7	2	継続勤務期間 11年2月
看護師長	木村 弘子	0	2	
事務部次長	吉井 麻千子	0	2	
医務部長	佐竹 隆宏	5	2	
医務部部長	飯塚 俊之	0	2	継続勤務期間 3年2月
医務部課長補佐	山本 みちよ	2	2	継続勤務期間 11年2月
リハビリテーション部長	片桐 浩史	9	2	継続勤務期間 10年2月
リハビリテーション部課長補佐	川谷 歩	4	2	継続勤務期間 32年2月
看護部副看護師長	板谷 純子	4	2	継続勤務期間 16年2月
看護部副看護師長	前川 敦美	4	2	継続勤務期間 11年2月
看護部副看護師長	坪野 弘美	4	2	継続勤務期間 17年2月
看護部副看護師長	金田 佳子	0	2	継続勤務期間 5年4月
通園部課長補佐	小泉 浩二	1	2	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設としての肢体不自由児入所及び重症心身障害児入所	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児への療育を行い、将来の地域生活に向けて必要なあらゆる支援を行う <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要:障がいのある入所児への医療・ケアの提供、リハビリテーション、外出等の生活自立訓練及び季節を感じ楽しい生活となるよう様々な年間行事を実施している。 また、入所児の退所後の地域生活移行に向けて計画的に支援を行っている。 ・入所児童数 平均10.8人(30年度 平均12.3人) ・入所児は重度化が進んでいるが、細やかな観察と異常の早期発見・早期対応に努め、より大きな体調の崩れとにならないよう注意している。また、体調管理により生活が広がる行事に参加できるよう努めている。 ・家族と入所児のつながりを大切にし、一緒に泊まりや外泊・面会、家族と一緒に行事参加を積極的に勧めている。また、家族との連絡ノート等も活用している。 ・家族に入所児の支援計画について定期的に説明し、意思確認や同意を得ながら進めている。 <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出体験が難しい児童も参加活動できる行事を計画し、入所児全員が一緒に楽しむ取り組みを行った。 ・入所の目的が多様化する中で、出産や介護者の病氣療養の支援のための期間限定入所を行った。 ・高度な医療ケアを必要とする幼児に対して家族支援を行い、面会の継続、愛着形成につなげる支援を行った。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出することが困難な入所児も全員一緒に楽しめる企画を計画し、ビデオ撮影した映像を見ての外出体験や家族交流を行うことで家族の満足につながった。 ・在宅生活を送っている家族の変化に伴う出産支援、介護者の病氣療養支援を目的とした期間限定入所を受けることで、家族の安定した生活につながった。また退所後に元の生活に戻れるよう支援ができた。 ・高度な医療ケアを必要とする幼児の入所児に対して家族としての役割を持ってもらえるような支援、愛着形成につなげる支援を行うことで幼児期の入所児の精神的安定と家族の役割の継続につながった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所児童は家族との関係によって変化することが予測される。また今後入所する児童は医療・ケア度が高くなっていくことも予想される。このような中で、児の地域生活や教育面での他機関との連携や、アウトリーチを含め地域・在宅生活に向けたセンターの支援体制のあり方を検討する必要がある。 ・重度化に加え、親子関係が希薄で入所が長期にわたる可能性があるケースに対し、今後、児童のみならず親支援が求められている。 				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく短期入所	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・地域で生活する医療ケアが必要な障がい児者の短期入所を受け入れ、その家族のレスパイト(日常の介護からの一時的解放や休息)や冠婚葬祭等の対応が可能となるよう支援する。

(イ)事業の実施状況

- ・利用ニーズが高く、希望日や必要の度合い等を考慮しながら、安全かつ最大限に受け入れができるように職員の配置を調整している。
- ・利用者数 一日当たり平均 6.5人 (30年度 同 8.8人、29年度 同 7.4人)
短期入所定員 6人(空床型)

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・平成31年3月に開所した民間クリニックの医療型短期入所事業のサポートをセンター看護師が行い、円滑な開所に貢献した。
- ・短期入所利用前に、医師の診察による体調確認を行って短期入所の可否を決定し、より安全に利用者を受け入れるように取り組んだ。また、成人の長期にわたる短期入所利用者の日数を調整し、特定の利用者に偏ることなく、できるだけ多くの方に利用できるように取り組んだ。
- ・看護師が利用者家族と面談を行い(41件)、利用中に家族が望まれることを可能な限り対応できるよう情報共有し、看護ケアに取り組んだ。
- ・昨年度作成した「短期入所のしおり」の標準的な持ち物チェックリストを活用して荷物チェックを行った。また、介助員とも連携して利用者のベッド準備、片付けなどを行うようにした。

ウ 成果及び効果

- ・医療資源が乏しい西部圏域において、医療型短期入所の施設が開所されたことで、センターの集中利用が少し緩和されつつある。
- ・入所前に診察を行ったことで、頭のしらみを医師が発見し、センター内の感染を未然に防ぐことができた。体調について家族と医師が話をしているため、体調不良になり家族に迎えに来てもらう際に家族側も受け入れがしやすくなっている。また看護師も事前に医師に診察を受けていることで安心して短期入所の対応ができる。
- ・長期の利用者も平均的に月15日から20日以内で利用されるようになり、他の利用者が使いやすくなりお断り件数が減少した。(30年4月～8月は8件～10件、9月～翌2月は3件～6件で推移。)
- ・今年度、家族とコミュニケーションを積極的にもち、家族の思いを傾聴した結果、家族からの要望を取り入れた看護ケアを提案し、利用者、家族に対し満足のいく看護ケアを提供することができた。また、利用者、家族に喜んでもらえることが、看護師のモチベーションの向上につながった。
- ・介助員と連携し、ベッド準備、片付けを行うことで時間の短縮、効率化が図れた。それにより、利用者の病室を訪問する時間が増え、良質な看護ケアの提供につながっている。

エ 課題

- ・成人の長期の利用者の日数を調整しているため、一日平均の利用者数が昨年度より減少した。また、未就学の短期入所利用児童も就学を機会に入所を検討しているケースもある。短期入所の利用が少なくなっていく中、サービスを向上して利用増を図るために、送迎サービスや日帰り・土日祝日の入浴サービス等について検討していくことも必要である。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
医療的ケア児の対応	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・在宅で生活している医療的ケア児とその家族が、将来的な見通しを持ちながら安心して生活できるように医療型児童発達支援(のびっこワールド)、相談支援事業を中心として支援を行う。

(イ)事業の実施状況

- ・在宅生活をスタートして年月の浅い医療的ケア児の生活面や成長過程において、療育の専門機関としてアセスメント、対応への助言、レスパイト(家族の休息)の提供等を行っている。
- ・のびっこワールドにおいて、利用児の保育園への訪問や就学に際して学校訪問等を行い、地域の保育園や学校での生活面の支援を行っている。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・大学病院を退院する医療的ケア児について、大学病院のカンファレンスへの参加や評価入院の受入れ、訪問支援など在宅生活の安定に向けての支援を行った。
- ・地域療育支援事業として訪問看護ステーション、訪問リハビリ、相談支援事業所など他機関への支援を行った。
- ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修に職員が講師等の立場で協力し、コーディネーター養成に協力した。
- ・医療的ケア児を地域で支える支援について啓発する目的で、地域療育セミナーを開催した。参加者108名。(令和元年7月29日、米子市福祉保健総合センター「医療的ケアを必要とするこどもたちの教育保障」)

ウ 成果及び効果

- ・小児リハビリや障がい児保育、重症心身障がい児の看護、医療ケアに係るノウハウなどを保護者や関係者に提供することで、在宅での生活を整える一助となっている。
- ・西部圏域には医療型短期入所施設はほとんどないため医療的ケア児の家族のレスパイト先として受け入れを行っており、児の在宅生活を支援している。

エ 課題

- ・在宅支援を強化するため居宅訪問型児童発達支援事業を開設したが利用がなかったため、関係機関への周知とニーズの掘り起こしに努める必要がある。
- ・就労を希望する保護者が、のびっこワールドから保育所等へ医療的ケアのある子どもを預けようとした場合、受入れ先の調整に苦慮する場合がある。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
発達障がいへの対応	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・幼児期から思春期にある発達障がい児への外来診療を行い、適時に医療を提供する。
- ・発達障がい児の支援を行う地域の機関を支援する。

(イ)事業の実施状況

- ・外来診療として小児科、児童精神科の診察を行っている。また小児科では、小集団活動やペアレントトレーニング(保護者向けプログラム。以下「ペアトレ」)を行っている。
- ・地域療育支援事業として、各機関との連携、支援を行っている。
- ・高等学校卒業の年齢を目途に地域の精神科等への移行をすすめている。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・小集団活動においてニーズの高い年長児(就学前)のプログラムを実施しているが、並行して、保護者を対象にしたペアレントトレーニングやメンター(先輩保護者)からの情報提供を行っている。
- ・ペアレントトレーニングの実績・成果を検証し、思春期へのペアトレを個別で行っている。
- ・鳥大病院臨床心理センターとの心理カンファレンスを1回開催し、連携を深めている。
- ・大人の発達障害に対応する医療機関をサポートするため、鳥大病院精神科と協力して「西部圏域大人の発達障害診療ネットワーク勉強会」を継続的に開催している(元年9月26日、鳥大附属病院で開催)。

ウ 成果及び効果

- ・小集団活動といった児童へのアプローチだけでなく、保護者へのサポートを行うことで、家庭でも特性に応じた関わりを意識できる。
- ・小児科外来では、問診、同席、訪問等の方法を工夫し、保護者、園、学校、福祉事業所とのスムーズな連携ができるようになってきた。
- ・児童精神科では、大人の発達障害のネットワーク勉強会に継続的に取り組むことで、各医療機関の状況把握や連携が進み、以前より成人期の診療移行がスムーズになっている。

エ 課題

- ・小児科では、乳幼児健診後のフォローや就学へのつなぎの支援が充実しており、幼児期の新患は減少傾向だが、小学校高学年から中学生の受診が増えている。不登校や学校への不適応など二次障害となっているケースも多く、教育機関と共通の課題として検討していく必要性が増している。
- ・児童精神科は常勤医師が1名であり、受診ニーズに対して医師が不足している。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センター 〔施設名称:のびっこワールド〕	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>就学前の在宅障がい児の発達促進を図るとともに、家庭や地域での育児・療育を支援する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>概要:親子通園を基本とし、保育活動を通じて児の就学前の全般的な発達を促す支援を行っている。同時に家族への療育相談及び指導を行うとともに、地域の保育園等を訪問して関わり方等の助言を行う等、「のびっこ-家庭-保育園等の地域」が連携して支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の状況や従来からの肢体不自由児支援の専門性を活かして、鳥取大学医学部付属病院や福祉型児童発達支援センターの米子市あかしや、相談支援事業所等の地域の関係機関と会議や訪問等で情報共有しながら支援を行っている。 ・1日平均利用者数:平成31年4月～令和2元年2月 3.3人/日(平成30年度4.2人/日) ・保育園等との連携:訪問件数(11件)、園保育士ののびっこの活動見学や個別支援会議への出席(随時)、家庭訪問(4件) ・あかしやとの連携:のびっこ利用者によるあかしや見学会(7月)、のびっこ利用者のあかしや見学や体験等の連絡調整(随時) ・相談支援事業所との連携:個別支援会議への出席、サービス担当者会議への出席等(随時) <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望をしっかりと把握し、希望する園の選択・申し込み等への支援を行った。今年度も先輩保護者の就園や就学、子育ての体験談を聞く会を開催し、就園・就学時の参考にしてもらった。 ・保護者支援について、ペアレント・トレーニングをプログラム化して実施し、プログラムの内容を保護者の状況に合わせて工夫しながら実施した。 ・保護者がサポートブックを作成するのを支援し、サポートブックをもとに個別支援会議や就園先等への情報共有に活用してもらった。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学校への同行訪問や調整を行う事で、保護者及び利用児が自分の行きたい園や就学先を選択することができた。 ・ペアレント・トレーニングで利用児への関わり方を学ぶことで、保護者に日々の子育てに活かしてもらっている。 ・サポートブックを活用することで、個別支援会議で保護者から意見が活発に出るようになった。また、就園・就学先に移行する際に、サポートブックを活用してもらい情報共有を図ることができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびっこ利用前や卒園後の支援をよりスムーズに行うため、相談支援事業所や市町村との連携を図っていくことが必要である。 ・家庭環境などにより通園できない家庭に対しては家庭状況を市町村と情報共有しながらそれぞれが支援を行っているが、引き続き市町村との情報共有が必要である。 				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく生活介護事業 〔施設名称:はっぴいフレンド〕	253,714	500	252,714	500
鳥取元気プロジェクト				※総合療育センター費の中で当該事業を実施
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の重症心身障がい者等の生活を支え、心身機能の維持増進と生活の質の向上を図る。 <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要:在宅の重症心身障がい者等の健康管理、日中の過ごし方の充実を目的に支援している。 ・契約者数 8人(いずれの方も超重症心身障害者、障害支援区分6に該当) ・1日平均利用者数:平成31年4月～令和2年2月 2.4人/日 (平成30年度 3.1人/日) ・集団での活動(外出・創作等)や交流行事等を積極的に行い、センター内や地域に開かれた活動を行っている。 <例> 誕生日外出を行い、地域のカフェなどに出掛け、大切な誕生日をみんなで祝いした。 ・米子市障がい者アート展に展示する作品を制作し、利用者全員が自分の利用日に合わせて米子市美術館に見学を行った。 ・家族交流行事として花回廊に出掛けた。 <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来施設入所を希望されている利用者・家族に対して松江医療センター・療養介護への見学を実施した。 ・在宅での利用者の健康管理や家族の介護負担軽減のため、家族からの要望により家庭訪問を行いサービスの利用状況を確認し、必要な助言を行った。また、はっぴいフレンド以外のサービス利用につながるよう情報提供や関係機関との調整を行った。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に出掛けることは、利用者としては外出先を広げ、また、重症心身障がい者のことを地域に知ってもらう良い機会になっている。 ・利用者・家族が他の療養介護施設を見学し説明を受けることで、将来の生活を具体的にイメージすることができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に医療的ケアが必要な方が利用できるサービスは限定されており、在宅生活の充実のため、保護者や関係機関等と協働していくことがより必要となっている。 ・送迎希望者への対応について、職員の送迎体制をより細やかに検討していくことが必要である。 				

6 収入証紙取扱額調べ

有 ・ 無

7 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(令和2年2月29日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
雑入	41,496	16	公衆電話通話料
児童福祉施設使用料	6,484,431	288	診療費等の患者負担金、短期入所・通園等の利用者負担金等(窓口における領収)
児童福祉施設設手数料	1,151,520	177	文書料(窓口における領収)
合計	7,677,447	481	

イ つり録の状況

該当なし

8 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(令和2年2月29日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	総合療育センター	米子市上福原七丁目 1751-1	9,276.00	17,513,800	増加	H					9,276.00	17,513,800		
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1771-1	3,279.00	6,646,400	増加	H						3,279.00	6,646,400	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1752-5	1,315.00	不明	増加	H						1,315.00	不明	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1753-1	1,249.00	不明	増加	H						1,249.00	不明	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1753-3	483.00	不明	増加	H						483.00	不明	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1756	1,600.73	72,633,124	増加	H						1,600.73	72,633,124	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1757-1	1,447.27	65,669,876	増加	H						1,447.27	65,669,876	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目 1758-1	2,167.02	98,328,533	増加	H						2,167.02	98,328,533	
					減少	H								
米子市上福原七丁目 1758-2	2,100.00	73,500,000	増加	H						2,100.00	73,500,000			
			減少	H										
米子市上福原七丁目 1775-1	912.00	16,103,744	増加	H						912.00	16,103,744			
			減少	H										
米子市上福原七丁目 1775-2	925.00	13,449,409	増加	H						925.00	13,449,409			
			減少	H										
米子市上福原七丁目 1797-16	1,223.00	17,782,299	増加	H						1,223.00	17,782,299			
			減少	H										

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	総合療育センター	米子市上福原七丁目1775-3	512.00	8,726,245	増加	H					512.00	8,726,245		
					減少	H								
		米子市上福原七丁目1797-20	124.00	2,113,387	増加	H						124.00	2,113,387	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目1797-14	1,330.00	20,301,772	増加	H						1,330.00	20,301,772	
					減少	H								
		米子市上福原七丁目1799-2	54.12	3,864,168	増加	H						54.12	3,864,168	
					減少	H								
米子市上福原七丁目1799-8	52.59	3,754,926	増加	H						52.59	3,754,926			
			減少	H										
米子市上福原七丁目1755-1	542.54	39,225,642	増加	H						542.54	39,225,642			
			減少	H										
米子市上福原七丁目1755-4	540.85	39,103,455	増加	H						540.85	39,103,455			
			減少	H										
計			29,133.12	498,716,780			0	0		29,133.12	498,716,780			
普通財産					増加	H								
					減少	H								
計			0	0			0	0		0	0	0		
合計			29,133.12	498,716,780			0	0		29,133.12	498,716,780			

イ 建物

(令和2年2月29日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
			50.60	702,960	増加	H					H	50.60	702,960	車庫
					減少	H					H			
			6,837.71	2,418,286,280	増加	H					H	6,837.71	2,418,286,280	本館
					減少	H					H			
			578.00	171,814,766	増加	H					H	578.00	171,814,766	重心外来部門
					減少	H					H			
			258.00	78,538,789	増加	H					H	258.00	78,538,789	電気機械室
					減少	H					H			
			11.29	2,875,492	増加	H					H	11.29	2,875,492	医療廃棄物倉庫
					減少	H					H			
			9.76	2,485,810	増加	H					H	9.76	2,485,810	廃棄物倉庫
					減少	H					H			
			5.13	1,306,579	増加	H					H	5.13	1,306,579	駐輪場
					減少	H					H			
			120.06	35,688,721	増加	H					H	120.06	35,688,721	車庫棟
					減少	H					H			
			14.58	4,334,013	増加	H					H	14.58	4,334,013	駐輪場、ゴミ置場
					減少	H					H			
計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	
普通財産					増加	H					H			
					減少	H					H			
計			0	0				0	0			0	0	
合計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和2年2月29日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
78 枚	0 枚	25 枚	53 枚
		34,740 円	

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和2年2月29日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	配電線施設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	コンクリート柱3本	H27.1.27	H12.3.28	H27.4.1~ H32.3.31	月額・年額 4,500	4,500	米子市加茂町二丁目51 中国電力株式会社 米子営業所	文書 ID:14- 00145824	
計								4,500			
普通財産	該当なし						月額・年額				
計											
合計								4,500			

イ 建物

(令和2年2月29日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	自動販売機設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	2.0㎡	H29.3.31	H17.4.28	H29.4.1~ H32.3.31	月額・年額 19,800	19,800	米子市中島一丁目1-5 白バラ商事株式会社	文書 ID:16- 00185183	
計								19,800			
普通財産	該当なし						月額・年額				
計											
合計								19,800			

(2) 物品 該当なし

10 借受不動産明細調べ 該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	米子市上福原七丁目13番3号	12.5(未舗装)	2,400
	米子市上福原七丁目13番3号	12.5(未舗装・舗装併用)	2,463
普通財産	該当なし		

(2) 減免の考え方

1/4減免

病院、入所型医療福祉施設等の所屬で勤務形態が一般職員と異なっており、かつ夜間、早朝勤務などが1ヶ月に5日以上あり、公共交通機関による通勤が困難な職員。

1/2減免

病院、入所型医療福祉施設等の所屬で勤務形態が一般職員と異なっており、かつ夜間、早朝勤務などが1ヶ月に10日以上あり、公共交通機関による通勤が困難な職員。

(3) 使用料の見直し

令和元年10月 1日実施

12 寄附物件の受納状況調べ

(令和2年2月29日現在)

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額 円	寄附申込年月 日	寄附 申込者名	受納 年月日	受納手続 の有無	備考
65V型液晶テレビ	LG電子 65SK8500JA	1	233,280	R1.5.11	米子中央 ライオンズクラブ	R1.5.29	有	
液晶ディスプレイスタンド	サンワプライ CR-PL102SCBK	1	66,420	R1.5.11	米子中央 ライオンズクラブ	R1.5.29	有	
小型高圧滅菌器	EXクレーブ	1	281,600	R1.10.4	個人	R1.12.11	有	
電動車いす	miniNEO-Eキッズ	1	589,000	R1.10.4	個人	R1.12.11	有	
WAIS-IV知能検査 書籍	検査用具一式	114	154,000 140,602	R1.10.4 R1.12.20	個人 日本出版販売株 式会社	R1.12.11 R1.12.20	有	
合計			1,464,902					

13 備品の処分状況調べ

(令和2年2月29日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定年月 日	処 分				備 考
			売払棄却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額・ 処分費用	
パルスオキシメーター他	H21.4.10他	R1.5.24	棄却	故障	R1.6.21	円 176,040	三光(株)
移動型X線装置	H17.3.29	R1.10.3	棄却	耐用年数超過、 機種更新	R1.9.17	0	機種更新時に 引き取り
歯科用IPデジタル X線画像システム	H24.11.16	R1.11.27	棄却	耐用年数超過、 機種更新	R1.11.26	0	機種更新時に 引き取り
生体情報モニタ	H22.2.22	R1.12.23	棄却	故障	R2.1.15	0	機種更新時に 引き取り
ベッドサイドモニタ	H17.1.28	R1.12.23	棄却	故障	R2.1.15	0	機種更新時に 引き取り
経皮ガスモニタリング システム	H23.8.10	R1.12.20	棄却	耐用年数超過、 機種更新	R2.1.22	0	機種更新時に 引き取り
小児用2クランクギャッジ ベッド他	H18.3.30他	R2.2.13	棄却	故障	R2.2.27	171,600	三光(株)
合 計						347,640	

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合

有 ・ 無

総合療育センター個別事項

15 当年度における業務の概要

【総合療育センターの理念と基本方針】

<理念>

私たちは、障がいについての質の高い医療・福祉サービスを提供し、豊かな社会生活に向けての支援を行います。

－ 利用者の皆さまとともに、今も未来も、豊かで楽しい生活をめざそう －

<基本方針>

- ・私たちは、利用者中心の医療・福祉サービスの提供を行います。
- ・私たちは、地域の多くの人たちと協働して、障がい児・者とその家族の地域生活を支援します。
- ・私たちは、自己研鑽に励むとともに、障がい児・者の医療・福祉従事者への研修の場を提供します。
- ・私たちは、総合療育センターを構成する者として、その運営に積極的に取り組みます。

【総合療育センターの事業の概要（事業費 253,714千円(総合療育センター費)）】

1. 施設の役割

- ・発達障がい児を含む障がい児全般の早期発見・早期療育
- ・生涯を見通した継続的な療育
- ・NICU長期入院児にかかるバックアップ施設としての機能

2. 施設の機能

(1) 医療機関としての機能

○診療科・・・小児科(脳神経小児科)・精神科(児童精神科)・リハビリテーション科・整形外科・耳鼻咽喉科(H20.4～)・皮膚科(H21.4～)・歯科(H17.6～)

※耳鼻咽喉科及び皮膚科は入所者のみ対象

○病床数：61床(障害者施設等入院基本料)

・・・肢体不自由児及び重症心身障がい児入所50床、医療保険入院5床
短期入所6床は空床利用型

(2) 児童福祉施設としての機能

医療型障害児入所施設

肢体不自由児〈定員25人(3/1現在入所者 2人)〉

重症心身障がい児〈定員25人(3/1現在入所者 9人)〉

医療型児童発達支援センター〈定員30人(3/1現在登録者 19人)〉

生活介護事業(重症心身障がい児(者)通園)〈1日定員6人(3/1現在登録者 8人)〉

短期入所〈定員6人(1日の平均利用者数 6.5人)〉

日中一時支援事業受入 (米子市、境港市、伯耆町、倉吉市)

3. 利用者年間延べ人数(平成31年4月から令和2年2月まで)

区分	延べ利用者数
外来受診者	13,108人
肢体不自由児入所	562人
重症心身障がい児入所	3,051人
医療保険入院	776人
児童発達支援センター	742人
生活介護事業	528人
短期入所	2,193人
日中一時支援	0人

【今後の課題】

- 1 少人数専門職の育児休業等の代替職員の配置
 - ・保育士やリハビリ職員など少人数の専門職が育児取得をした場合は、他所属からの異動は望めず、欠員又は無資格の補助職員を採用して配置をしており、業務運営にかなり支障を来している状況にある。こうした職場で、さらに体調不良の職員が出て、所属から進んで病気休暇や休職を勧めることができない現実があり、人事担当部局の責任において育児等の欠員職場が最大限解消されるよう措置が必要である。
- 2 医療職の一人職場への対応
 - ・薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士は一人しか配置されていない。そのため時間外の緊急時には呼び出し又は医師が業務を代行して対応しているが、患者が重症化すると長期的に医療ニーズが高まることや、大規模な災害等があれば業務が停止する事態が想定されるため、何らかの人的措置が必要である。
- 3 療育サービス内容の地域ニーズに合わせた適正化
 - ・平成17年に総合療育センターとしてスタートしてから15年目であり、地域から求められる療育ニーズも変化してきた。センターとして、これからのニーズに合わせてサービス内容の見直しをしていく必要があり、具体的な検討に取り組みたい。

入所部門では入所児の減少と重度化、子育て支援など入所理由の多様化への対応が求められる。また、短期入所は利用が均等化してきたが、地域に他事業所ができたこともあり利用実数は減少傾向であり、サービスを充実させていきたい。通所部門のびっこ、はっぴいとも1日の利用日数は多くなく、ニーズ調査やサービス内容の検討が望まれる。

【各部の業務】

《事務部》

人事、会計、物品購入、医療事務、施設管理、一般管理事務のほか、診療に基づく医療費の計算及び請求などの保険医療事務、給付費請求等の福祉施設としての事務、医薬品や衛生材料等の購入、庁舎管理や公用車の運転など、病院運営上必要な業務を担当している。

《地域療育連携支援室》

地域療育支援、医療ソーシャルワーク、各種相談、在宅児に係る支援、入所・通園にかかる相談等について、関係機関と連携し、センターの窓口として、ケースごとの支援、機関連携強化、地域への啓発等を行っている。

《医務部》

入院及び外来にかかる診療（整形外科、小児科、リハビリテーション科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科）、検査（画像診断、臨床検査）、薬局、栄養管理、入所児・通園児（者）並びに外来児の診療、治療、健康管理、療育方針の立案、薬局（薬剤管理、調剤）、検査（画像診断、臨床検査）、栄養管理を行っている。

外来では、肢体不自由児だけでなく、小児整形外科疾患、小児内科疾患、精神遅滞、聴覚障害、てんかん、学習障がいなどの発達障がい、不登校、思春期の精神科及び小児精神科疾患も扱っている。

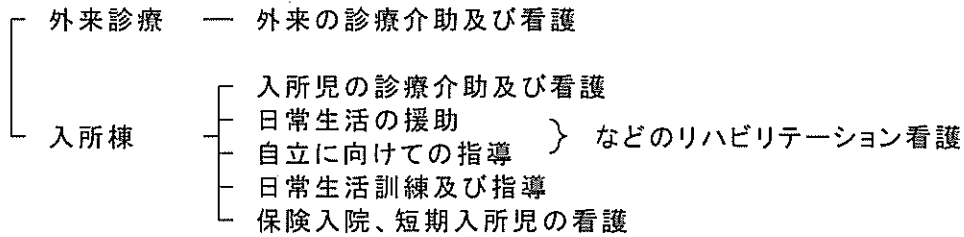
小児内科的治療、外科的治療、障がい児救急医療、手術療法、精神療法、理学療法、作業療法、言語療法、装具療法、総合診断、発達相談、特殊検査（聴力検査、誘発筋電図、脳波検査、各種誘発脳波検査、平衡機能検査など）、身障手帳診断、特別児童扶養手当などの診断書の作成等を行っている。

《リハビリテーション部》

入所児・通園児・外来児の、評価、訓練、指導

- ・理学療法（運動療法、物理療法）
- ・作業療法（上肢機能訓練、身辺自立訓練、知覚認知訓練、小集団療法）
- ・言語聴覚療法（構音訓練、摂食訓練、言語発達促進訓練、聴能訓練、小集団療法）
- ・心理療法（カウンセリング、心理検査、小集団療法）

《看護部》



療育が必要な子供たちと取り巻く家族へ、精神面を配慮した温かい看護を実施している。

《社会参加部》

センター行事の企画及び運営、幼児保育、学校及び他施設・機関との連絡調整、保護者との連絡調整、家庭訪問、外出学習、ボランティアとの協働

センター内での各種行事の実施や外出学習を通じ、日常生活の幅を広げるとともに、生活に必要な知識(技能)の取得を援助する。

未就学児の日中保育を通して、児の心を安心安定させ、成長を見守り、児の発達を促す。

隣接の養護学校との連携を図りながら、進路の調整指導等を行う。

入所児童の親子関係における不安材料(別離という状況)の軽減あるいは解消のために、保護者との連絡調整や外泊に取り組む。

《通園部》

生活介護事業(はっぴいフレンド)

在宅の重症心身障がい者等に対して、集団での外出活動や創作活動などを通して、日常的な体験・社会参加ができるように、日常生活動作や運動機能等に関わる訓練・指導等必要な支援を行い、機能低下を防止している。

センターの生活介護に来ることで、1人1人が健康維持できるよう排痰、呼吸管理等を活動の中に取り入れている。

医療型児童発達支援センター(のびっこワールド)

就学前の運動障がいや運動発達に遅れのある児童に対して、親子通園を基本に、保育活動を通じて全般的な発達を促すとともに、保護者同士の情報交換やリフレッシュの場を提供している。

保育士・理学療法士・言語聴覚士・児童指導員・看護師など多職種のスタッフで児童の生活を助けられるよう取り組んでいる。

保護者等の療育相談に応じたり、園訪問などを通して地域の園と連携し、家庭や地域における育児支援を行っている。

16 利用者に関する調べ

(1) 月別利用者の調べ

(単位:人) (令和2年2月29日現在)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度末の契約者数等	当年度の増減		2月29日現在の契約者数等
																新規契約者数等	契約解除者数等	
入所	肢体	実 延べ	1 30	1 31	1 30	2 53	2 62	2 60	2 62	2 48	2 51	2 51	2 45		2	0	2	0
	重心	実 延べ	10 271	11 300	12 336	12 334	10 297	10 283	9 263	8 238	8 245	8 266	9 257		10	3	5	8
保険入院	実 延べ	4 107	7 92	3 54	5 87	7 89	6 75	4 63	5 67	2 42	3 49	4 51						
短期入所	実 延べ	29 191	29 216	32 230	32 204	26 181	30 210	30 206	32 211	26 189	28 190	26 165			92	1	0	93
日中一時	実 延べ	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0			3	0	3	0
通所	児童発達	実 延べ	20 74	13 50	18 71	19 67	16 56	18 65	19 88	18 72	20 68	17 68	19 63		32	5	18	19
	生活介護	実 延べ	7 50	8 49	8 56	8 52	7 51	7 43	7 49	7 47	7 46	7 44	7 41		9	0	1	8
外来	小児科	延べ	611	588	646	633	576	554	621	603	619	607	551		6,609			
	リハビリ	延べ	330	314	367	424	384	417	477	447	460	386	361		4,367			
	整形	延べ	9	10	5	4	12	8	7	4	5	4	22		90			
	精神	延べ	127	151	136	148	124	145	139	135	131	129	119		1,484			
	歯科	延べ	59	56	46	47	65	49	41	53	52	51	39		558			
	全麻件数		1	0	1	2	2	1	0	1	0	1	1		10			
	その他	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
外来計	延べ	1,136	1,119	1,200	1,256	1,161	1,173	1,285	1,242	1,267	1,177	1,092		13,108				
延べ利用者合計			1,859	1,857	1,977	2,053	1,897	1,909	2,016	1,925	1,908	1,845	1,714		20,960			

※ 「全麻件数」とは、「全身麻酔による歯科治療」の件数である。

注 「前年度末の契約者数等」欄等は、利用の契約者及び利用登録者等の人数を記載すること。

(2) 近年の利用者の状況調べ(延べ)

(単位:人) (令和2年2月29日現在)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入所					
肢体	462	960	1,195	724	523
重心	4,416	4,067	3,908	3,817	3,090
保険入院	1,203	656	440	679	776
短期入所	2,412	2,402	2,699	3,116	2,193
日中一時	165	131	61	7	0
通所					
児童発達	1,162	1,108	1,108	1,030	742
生活介護	760	689	707	761	528
外来(合計)	13,462	13,551	14,286	15,225	13,108
合計	24,042	23,564	24,404	25,359	20,960

(3) 地域別利用者の調べ (単位：人) (令和2年2月29日現在)

区分	県内				県外				合計	
	東部	中部	西部	計	島根県	岡山県	その他	計		
入所	肢体	0	0	5	5	0	0	0	0	5
	重心	1	2	10	13	0	0	0	0	13
保険入院	3	2	14	19	1	0	1	2	21	
短期入所	0	2	38	40	3	1	1	5	45	
日中一時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所	児童発達	0	1	21	22	4	0	0	4	26
	生活介護	0	0	8	8	0	0	0	0	8

※ 外来を除く。

1.7 肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ

(1) 利用者の病類調べ (単位：人) (令和2年2月29日現在)

区分	脳性まひ	筋神経疾患	染色体異常	頭部外傷等後遺症	精神・運動発達遅滞	その他	合計
入所	肢体	0	2	0	0	0	1
	重心	5	0	1	0	0	7
	計	5	2	1	0	0	8
通所	児童発達	5	2	9	0	3	8
	生活介護	4	1	1	2	0	8
	計	9	3	10	2	3	35

(2) 利用者の年齢調べ (単位：人) (令和2年2月29日現在)

区分	3歳まで				就学前			小学生	中学生	18歳未満	20歳未満	成人	計	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳							
入所	肢体	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	5
	重心	0	1	1	0	1	1	0	1	4	2	0	0	11
	計	0	1	0	1	1	1	0	3	5	3	0	0	16
通所	児童発達	2	1	5	5	7	6	0	0	0	0	0	0	26
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	8
	計	2	2	5	5	7	6	0	0	0	1	0	7	34

18 実習生・研修生の受入状況調べ

(単位:人)

(令和2年2月29日現在)

実習名等(受入理由)	依頼元(学校名等)	受入人数		実習費等受入状況
		実人数	延べ人数	
[医療関係]				
臨床実習	鳥取大学医学部	33	73	73,000 円
[看護関係]				
小児看護学臨地実習	米子北高校	9	85	85,000 円
	鳥取看護大学	28	101	101,000 円
	中国四国重症心身障害看護師研修会	2	2	10,000円
	倉吉総合看護専門学校	30	30	県立学校のため実習費は請求なし
[リハビリ関係]				
臨床心理学実習	鳥取大学大学院医学系研究科	5	20	20,000 円
理学療法士科臨床実習	吉備国際大学	1	19	19,000 円
	YMCA米子医療福祉専門学校	1	28	28,000 円
作業療法士科臨床実習	YMCA米子医療福祉専門学校	2	48	48,000 円
[保育関係]				
保育実習	鳥取短期大学	6	66	66,000 円
合 計		117	472	450,000 円

注1 「実習名(受入理由)」欄は、臨床実習・小児保健実習、施設研修等の区分を記載すること。

2 「実習費等受入状況」欄は、受入に係る収入の考え方や収入金額を記載すること。

19 使用料(診療費)の請求等の状況調べ

(単位:円)

(令和2年2月29日現在)

区分 月別	社会保険診療報酬支払基金					国民健康保険団体連合会					市町村負担分 (指定医療機関、障害児施設 等医療機関に係る負担分)					自動車損害賠償責任保険 に係る診療報酬					計	延滞等 処分	合 計
	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額			
4月	18,908,751	△ 26,700	0	△ 97,360	18,784,691	7,029,387	0	246,736	0	7,276,123	0	0	0	0	0	25,938,138	△ 26,700	246,736	△ 97,360	26,060,814	488,040	26,548,854	
5月	14,958,122	△ 394,272	0	△ 20,171	14,543,679	8,067,004	△ 904,635	0	0	7,162,359	0	0	0	0	0	23,025,126	△ 1,298,907	0	△ 20,171	21,705,048	479,770	22,185,818	
6月	15,531,300	0	0	△ 195,534	15,335,766	9,576,054	0	0	△ 5,895	9,570,169	0	0	0	0	44,454	25,151,818	0	0	△ 201,429	24,950,389	565,904	25,516,293	
7月	16,895,727	△ 4,702,538	0	△ 13,400	12,179,789	7,875,435	△ 36,770	0	△ 625	7,839,040	0	0	0	0	0	24,771,162	△ 4,738,308	0	△ 14,025	20,017,829	759,974	20,771,803	
8月	21,805,340	△ 129,540	0	△ 118,147	21,557,653	9,155,192	0	0	△ 106,770	9,051,422	0	0	0	0	37,660	31,001,192	△ 129,540	0	△ 224,917	30,646,735	584,910	31,231,645	
9月	15,895,292	△ 3,451,436	0	△ 37,427	12,406,369	7,785,846	△ 1,116,850	244,828	0	6,913,824	0	0	0	0	19,930	23,701,066	△ 4,568,346	244,828	△ 37,427	19,340,123	521,160	19,861,283	
10月	13,890,983	3,475,770	170,887	△ 97,542	17,440,078	8,225,314	△ 735,213	0	0	7,490,101	0	0	0	0	0	22,116,297	2,740,557	170,887	△ 97,542	24,930,179	537,220	25,467,399	
11月	14,298,801	△ 58,862	50,485	0	14,290,424	8,816,651	△ 1,200	243,445	△ 10,420	9,048,476	0	0	0	0	20,340	23,135,792	△ 80,062	293,930	△ 10,420	23,359,240	532,410	23,891,650	
12月	13,879,471	△ 42,135	0	△ 206,443	13,630,892	6,749,074	172,137	0	△ 9,828	69,113,383	0	0	0	0	3,150	20,631,695	130,001	0	△ 216,271	20,545,425	545,600	21,091,025	
1月	17,985,434	△ 985,567	0	△ 50,037	16,949,830	5,119,955	△ 1,133,070	0	0	3,985,885	0	0	0	0	0	23,105,389	△ 2,118,637	0	△ 50,037	20,936,715	471,190	21,407,905	
2月	17,402,180	△ 574,548	0	△ 102,670	16,685,962	6,654,336	△ 1,605,013	0	0	5,049,323	0	0	0	0	6,350	24,062,866	△ 2,179,561	0	△ 102,670	21,780,635	449,570	22,230,205	
3月																0	0	0	0	0	0	0	0
計	181,451,401	△ 6,889,889	221,352	△ 938,731	173,844,133	85,057,258	△ 5,366,614	795,090	△ 133,538	80,298,115	0	0	0	0	131,834	266,640,543	△ 12,250,503	956,961	△ 1,072,269	254,274,132	5,929,748	260,203,880	

20 主な施設の整備状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし